

空き家活用プロジェクトポータルサイト制作等業務委託
評価基準表

1 審査方法

(1)審査は、評価基準表の評価項目及び配点に従い、提案事業者の提案内容を評価し、得点の高い順に、契約交渉権に係る優先順位を決定する。

(2)同点の場合、見積金額の最も低い者を選定するものとし、見積金額の最も低い者が複数の場合は、審査会にて提案書の再審査を行う。

2 評価基準表(100点満点)

評価項目	評価内容	配点
(1)企画提案の妥当性・理解度		
① 仕様書の理解度 (コンセプト)	空き家のリブランディングの目的や、ライフスタイル・事例を活用した情報発信、ターゲットに応じたコンテンツ構成など、本業務で重視する考え方が提案に反映されているか。	25
(2)デザイン・構成		
② デザイン案の方向性	空き家活用の魅力や地域の価値が伝わる、統一感のあるデザインとなっているか。視認性・アクセシビリティへの配慮があるか。	25
③ 情報設計	トップページ・下層ページの構成が明確で、将来的な拡張がしやすい設計か。利用者導線が的確か。	10
④ 提案書の完成度	具体性があり、実現可能性が高い内容になっているか。	5
(3)業務実績・担当体制		
⑤ スケジュールの現実性	サイト公開予定日、その納期までの工程が過不足なく計画されているか。打ち合わせの頻度や作業体制が明確か。	10
⑥ 類似業務の実績	ポータルサイト、インフォグラフィック制作等の経験を有しているか。成果例の品質はどうか。	10
⑦ 担当者の専門性・体制	デザイナー、コーダーの役割が明確で、体制が業務量に見合っているか。	5
(4)見積金額の妥当性		
⑧ 見積の根拠・積算の透明性	各工程の工数や費用の算定が論理的か。過不足がないか。提案内容と費用のバランスが適切か。	10
合計		100